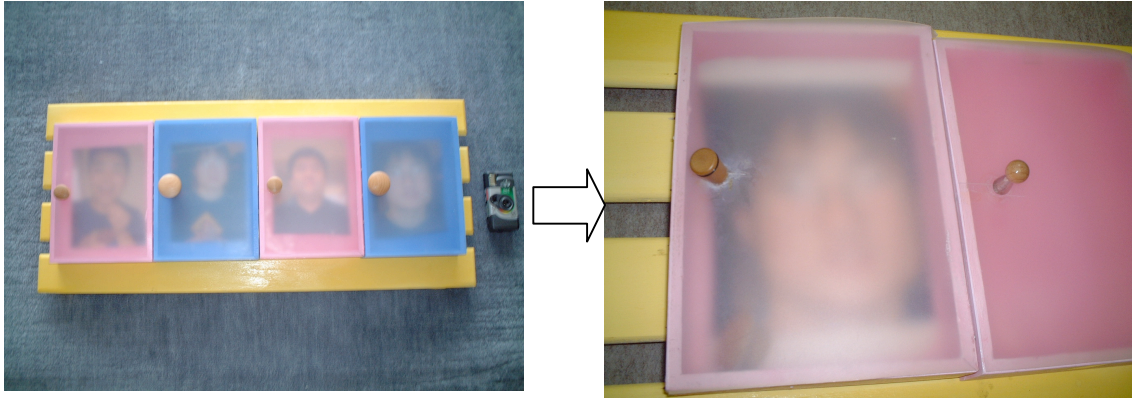


## 教材・教具紹介カード

教材 教具等	写真箱		区分	1 健康の保持 2 心理的安定 ③ 環境の把握 ④ 身体の動き 5 コミュニケーション												
使用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 扉の取っ手を指先でつかみ扉を開くことができる</li> <li>・ 手指の使い方の経験を広げることができる</li> </ul>															
写真・図・材料等																
指導への活用の仕方	<p>写真が好きな生徒の興味を取っかかりにして作った。H14年度の取組。          ○...良くなった点／●...さらに取り組みが必要な点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 40%; text-align: center;">8・9月</th> <th style="width: 45%; text-align: center;">10・11・12月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">教具と手立て</td> <td style="vertical-align: top;">           中に写真があることを意識しやすいように、扉は半透明のものにした。扉を開くと友だちや教師の写真を見ることができる、手を離すと扉は閉まるようにした。         </td> <td style="vertical-align: top;">           取っ手を小さなものに変える。            安定性をもたらす補助具を用意する。         </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">変容</td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 初めから取っ手をつかんで扉を開くことができた。</li> <li>○ 扉自体をつかんで開くこともある。</li> <li>● 強い力で開くため、教具が安定しなかった。</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小さな取っ手をつまんで開くことができた。</li> <li>● 補助具が安定せず、力いっぱい腕を動かしてしまう。</li> <li>○ 被服室の茶タンスの取っ手をつまんだり、電気スイッチに人差し指で触れたりした。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">評価と反省</td> <td style="vertical-align: top;">           意図する活動と異なるが、好きな活動も認め、焦らずに取り組む。            手指の動きに集中できるよう、教具に安定性が必要である。         </td> <td style="vertical-align: top;">           手指の活動に集中できる教具の提示の仕方を工夫することで、手指の活動に集中して取り組むことができるよう配慮できた。また、手指の動きにより集中できるために、教具に安定性が必要である。            日常生活にも有効な手立てとすることができた。         </td> </tr> </tbody> </table>					8・9月	10・11・12月	教具と手立て	中に写真があることを意識しやすいように、扉は半透明のものにした。扉を開くと友だちや教師の写真を見ることができる、手を離すと扉は閉まるようにした。	取っ手を小さなものに変える。 安定性をもたらす補助具を用意する。	変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 初めから取っ手をつかんで扉を開くことができた。</li> <li>○ 扉自体をつかんで開くこともある。</li> <li>● 強い力で開くため、教具が安定しなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小さな取っ手をつまんで開くことができた。</li> <li>● 補助具が安定せず、力いっぱい腕を動かしてしまう。</li> <li>○ 被服室の茶タンスの取っ手をつまんだり、電気スイッチに人差し指で触れたりした。</li> </ul>	評価と反省	意図する活動と異なるが、好きな活動も認め、焦らずに取り組む。 手指の動きに集中できるよう、教具に安定性が必要である。	手指の活動に集中できる教具の提示の仕方を工夫することで、手指の活動に集中して取り組むことができるよう配慮できた。また、手指の動きにより集中できるために、教具に安定性が必要である。 日常生活にも有効な手立てとすることができた。
	8・9月	10・11・12月														
教具と手立て	中に写真があることを意識しやすいように、扉は半透明のものにした。扉を開くと友だちや教師の写真を見ることができる、手を離すと扉は閉まるようにした。	取っ手を小さなものに変える。 安定性をもたらす補助具を用意する。														
変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 初めから取っ手をつかんで扉を開くことができた。</li> <li>○ 扉自体をつかんで開くこともある。</li> <li>● 強い力で開くため、教具が安定しなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小さな取っ手をつまんで開くことができた。</li> <li>● 補助具が安定せず、力いっぱい腕を動かしてしまう。</li> <li>○ 被服室の茶タンスの取っ手をつまんだり、電気スイッチに人差し指で触れたりした。</li> </ul>														
評価と反省	意図する活動と異なるが、好きな活動も認め、焦らずに取り組む。 手指の動きに集中できるよう、教具に安定性が必要である。	手指の活動に集中できる教具の提示の仕方を工夫することで、手指の活動に集中して取り組むことができるよう配慮できた。また、手指の動きにより集中できるために、教具に安定性が必要である。 日常生活にも有効な手立てとすることができた。														
記入者	内藤	記入年月日	15年8月26日	保管場所												
				内藤												